

ナカネマーカーと東濃信金

福祉施設に温度検知器

「感謝債」を活用、2台贈る

不動産賃貸業のナカネマーカー(土岐市駄知町)と東濃信用金庫(多治見市本町)



温度検知器を寄贈した中根眞人社長(左から2人目)ら。土岐市駄知町、とき陶生苑

は18日、同社が発行したCSR型地域エール私募債「感謝債」を活用し、社会福祉法人美濃陶生苑(土岐市駄知町)に非接触式温度検知器2台(12万円相当)を寄贈した。

感謝債は、同金庫が受け取る手数料の一部を使い、発行企業が指定する学校や団体に物品を贈る私募債。ナカネマーカーは中根モータース(同町)の関連会社で、社会福祉事業への感

謝の気持ちと、中根眞人社長が伊藤雅夫美濃陶生苑理事長と親交もあることから贈呈を決めた。

同法人が運営するとき陶生苑で贈呈式があり、中根社長が「感染防止のため」皆で協力することが大切」と話し、目録を伊藤理事長に手渡した。検知器は苑内の2施設に設置する。

(箕浦田美子)